

**故石井 功氏
瑞寶小綬章を受章**



故石井 功氏

平成24年12月8日に逝去された石井功氏（郡）に、瑞寶小綬章が授与され、家族の方に伝達されました。

故人は、県立高等学校の校長として高い見識と卓越した学校経営力をもって千葉県教育の発展に尽力されました。

また、全国産業高等学校長協会理事、千葉県高等学校長協会理事、千葉県高等学校教育研究会商業部会副会長等多数の要職を務められ、教育界に大きく貢献されました。この貢献が認められ、校長としての在職中に千葉県教育委員会から教育功労者表彰を、産業教育振興中央会から産業教育功労者表彰を受賞されました。

このたびは、その功績が認められて受章されたものです。

夢と希望を胸に、旅立ちの時！！

木々の芽も膨らみ始める3月は別れと旅立ちの季節。町内の小中学校で卒業式が行われました。

式で授与された卒業証書を手にした卒業生たちは、新たな旅立ちを前に少しの不安と大きな希望に胸を膨らませていました。

たくさんの思い出が詰まった学び舎を在校生に送られて、神崎小52名・米沢小10名・神崎中66名の児童、生徒が旅立ちの時を迎えました。



最後の合唱に感極まる（神崎中学校）



6年間の思い出を胸に旅立つ（神崎小学校）



共に過ごした日々を想い、あふれる涙（米沢小学校）

通り慣れた道路をきれいに！

米沢小児童が

ごみ拾いのボランティア

3月11日、米沢小学校の5・6年生が通学路である鳥打の坂（町道大貫武田線）のごみ拾いを行いました。学年ごとに班になり、道路沿いにポイ捨てされた空き缶やペットボトル、紙クズなどを拾い集めました。

6年生は卒業を間近に控えて、6年間で過ごした米沢小学校の周辺をきれいにしようとして一生懸命作業に取り組んでいました。

ボランティア作業により、道路はきれいになりました。いつまでもきれいであるため、絶対にポイ捨てはやめましょう。



たくさんのごみを集めた6年生10名